

社員満足、業績向上に直結

アース・クリエイト(有) 岐阜市

建設業のアース・クリエイトは小規模事業所でありながら、これまでに11人の男性従業員と2人の女性従業員が育児休業を取得している。

過去には一人当たりの年間時間外労働が平均300時間以上だったが、各現場の情報共有や仕事を助け合うバディ制度などによって、作業の計画化や効率化を図り、子育て支援と会社業績の両面を並行して改善。結果、会社全体で育児従事者

昨年4月には、新たに企画制作室を発足し、パート従業員として育児中の女性を4人採用。バディ制度の実施により、パート勤務でも効率良く業務を遂行していける仕組みを構築した。他にも、企画制作室には女性管理職を登用しており、家

庭状況等を把握して支援できる環境を作り出している。

また、社会復帰を躊躇している育児中の女性などを積極的に採用し、女性ならではの視点や考え方を取り入れて、より活気のある職場を作り、さらには業界のイメージ改革を図っている。(12年度認定。従業員数/男性13人・女性9人、計22人 ※昨年12月現在)



代表取締役の岩田良さんと企画制作室マネージャーの足立真紀さん。育児中の女性の秘めた能力を、もっと引き出していきたいと語る。



2020年4月発足の企画制作室では、女性も積極的に現場で活躍

育児中も安心感と自立促す

東濃信用金庫 多治見市

東濃信用金庫では、妊娠中や育児中の職員を対象に「カンガルーポケットの会」を2010年に設立した。会

は子ども同伴で年6回、偶数月に開催しており、庫内情報や育児の悩みを共有したり、円滑な職場復帰に向けたオペレーション研修などを実施している。さ

らに会では、復帰後の心得も啓発。人事部人材開発課の横山幸子さ

らは「特別な配慮があるのではなく、周囲に感謝の心を持つことが大切」と話し、仕事への責任感を促す。これまで延べ約620人が参加し、参加者か

らは「復帰に対して前向きな気持ちになれた」「育児中も会社とのつながりを実感できる」とブランクに対する不安軽減にもつながっている。(15年度認定。従業員数/男性456人・女性394人、計850人 ※昨年12月現在)

また、職員の業務面での課題解決を目的とした「おたすけCafe」を開催し、仕事への不安や悩み解消に一役買っている。

14年には「地域の皆様に愛される信用金庫にしたい」との想いから、女性職員による「チ



育児取得者はオペレーションの新しい機能追加の説明を受けることができ、円滑な職場復帰につながっている。



育休からの職場復帰に向けて開催される「カンガルーポケットの会」。

無理のない働き方で活躍を

コープぎふ 各務原市

コープぎふは年休の取得率向上、残業時間の削減に力を入れ、育

児や家庭の時間を大切に

を限定する地域限定正

規職員制度や短時間正

規職員制度(1週間の

所定労働時間が短い正

規型の職員の雇用制

と背中を押してくれ

た。もっと働きたいと

いう気持ちを受け止め

てくれる職場で、感謝

している」などの声が

寄せられている。

また、女性の活躍推

進については、14年に

職員の要望がきっかけ

で始まった女性職員交

流会を毎年開催し、正

9人※昨年12月現在)

規職員の8割以上が参

加。他にも女性職員の

キャリアアップ研修

や、外部研修への派遣

も積極的に行ってい

る。

働きやすい環境づく

りに取り組んだ結果、

子育て中に働き始める

女性も珍しくなく、さ

らにはパートから正規

職員への転籍を希望す

る人もおり「職場も家

族も」挑戦してみたら

」



女性職員交流会は、平日と土曜に開催。働きやすい制度や業務改善に向けて、グループワークなどを行う。



ライフステージに合わせ、無理のない働き方を選択できる。